

科目	単位	時間	履修学年	講師名
小児看護援助論Ⅲ	1	30	2	稲生 加奈子
令和7年4月1日				
ねらい	小児期によくみられる健康問題を理解し、看護問題を見出す視点を学ぶ。また小児看護の実際に必要な技術を体験する			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	①講義概要の説明（本単元の進め方） ②模擬事例：情報の整理、看護問題の抽出、看護目標 ③学習会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児看護過程の特徴</li> <li>・小児ゴードンアセスメント視点</li> <li>・小児看護への応用</li> <li>・小児喘息学習会</li> <li>・小児の呼吸器の特徴</li> <li>・PESについて学習会</li> <li>・ステロイドの作用と副作用（影響を理解する）</li> <li>・その他援助 動画学習会</li> </ul>	講義  個人ワーク グループワーク  動画学習会		
2回目				
3回目				
4回目				
5回目				
6回目				
7・8回目	ロールプレイ準備 （発達段階に合わせたおもちゃ・学習物作り） <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレパレーション/ディストラクション計画案作成</li> <li>・プレパレーション/ディストラクション物品作成</li> </ul>	個人ワーク グループワーク		
9回目	子どものフィジカルアセスメント 演習	演習（演習室）		
10回目	ロールプレイ実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレパレーション/ディストラクション計画発表</li> <li>・プレパレーション/ディストラクション物品発表</li> <li>・振り返り、グループ討議（意見交換、まとめ）</li> </ul>	発表（グループ発表と意見交換）		
11回目	倫理学習会	グループワーク		
12回目	小児看護のまとめ（レポート）	個人ワーク		
13・14回目	小児看護記録の記載練習	個人ワーク		
15回目	小児実習に向けて	グループワーク		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学①(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学②(医学書院)			
評価方法	評価方法：調べ学習・学習会・小テスト・その他課題提出物（グループワーク参加率も含む）、出席点 ※提出日、および具体的な評価点については講義内で別途指定する ※グループワークも多く、自主学習も講義時間に含んでいます。ちゃんと取り組んでいるのか評価をするためにも、欠席に関しては減点が発生します（出席点も評価対象）。 ※課題が期限内に提出されても、内容が十分に検討されている物でない場合は評価がつかない場合（減点もしくは評価対象外）があります。			
備考	※ロールプレイ詳細については時期が来たらお知らせします。グループメンバーで協力して準備してください。協力体制も評価点とします。			